堂々、完結！

井筒俊彦英文著作翻訳コレクション

全7巻
（全8冊）

日本語で書かれた著作からは知ることのできない、
もう一つの真髄がここに。

『全集』と併せ、井筒俊彦の鮮やかな思想世界が、
いま未来に向けて開かれる——。

慶應義塾大学出版会

完結にあたって

井筒俊彦（一九一四年―九三年）の生誕百年を記念した『井筒俊彦全集』（全十二巻・別巻、二〇一三年―一六年）の刊行によって、その思想の全体像が明らかになりつつあります。

しかし、井筒俊彦の生涯をひもとくと、一九五〇年代半ばから約二十年にわたって中近東、欧米で研究滞在し、日本語ではなく英文で多数の著作を発表した時代があります。この時期、井筒は日本語著作とは異なるアプローチで思索を深化させ、構築していったのです。

世界で読み継がれる英文代表作を訳出する本コレクションと『井筒俊彦全集』が完結した今、包括的で本格的な井筒研究が始まろうとしています。井筒哲学をめぐって新たな思索が紡がれていくことを祈念します。

二〇一九年六月　　編集部

日本語著作のみでは到達しえない
井筒思想の真髄が、
今ようやく明かされる。
『井筒俊彦全集』と併せて
井筒哲学の全体像がここに完成する。

本コレクションの特色

- 思索の「中期」にあたる一九五〇年代から八〇年代にかけて井筒俊彦が英文で著し、世界で高く評価された代表著作全七作を、本邦初訳で提供。
- 井筒哲学の中心テーマでありながら日本語では発表することがなかった唯一の「言語論」であり、幻の連続講義「言語学概論」を基にした英文処女著作『言語と呪術』を収録。
- 世界のイスラーム研究を牽引し、今なお各国語への翻訳が進む〝イスラーム三部作〟を最新の研究成果に基づき提示する。
- 名訳『老子道徳経』とイスラーム三部作の完成を経て、中国とイスラームの神秘思想を架橋する〝最重要の書〟『スーフィズムと老荘思想』待望の邦訳。
- 主著『意識と本質』への礎となり、海外のオーディエンス向けに東洋思想を平明に語った『東洋哲学の構造――エラノス会議講演集』を収録。
- 最新の研究に基づいた精緻な校訂作業を行ない、原文に忠実かつ読みやすい日本語に翻訳。
- 読者の理解を助ける解説、索引付き。

井筒俊彦英文著作 翻訳コレクション 全7巻（全8冊）構成

新時代の「東方（しののめ）」の哲学がはじまる

安藤礼二

井筒俊彦は晩年繰り返し、自分がこれまで行ってきたのは「東洋哲学全体に通底する共時論的構造」を体現する古いテクストをまったく新たな視点から読み直していくことだ、と語っていた。そこにあらわれる「東洋の哲人」はいずれも、利那の現実界と永遠の超現実界、有限と無限の双方を同時に見通すことができる人物であった。

なぜそのような未曾有の地平に立つことができたのか。井筒は生涯にわたって東洋と西洋、日本語と英語の世界の双方をその身をもって生き抜いたからだ。『井筒俊彦全集』の完結によって、井筒が「無垢なる私の原点」と評した『神秘哲学』（一九四九年）から、自身の魂の「ふるさと」、「私の東洋」の発見がかなったと記した『意識と本質』（一九八三年）へと至る前人未踏の歩みが理解できるようになった。憑依によって哲学が発生し、その体験を深めることで「意識と本質」をめぐる諸問題が整理される。

だがしかし、井筒は日本語だけを用いて著作を残したわけではない。「神秘哲学」から「東洋哲学」へ、つまり井筒思想の始点と終点をつなぐ最も重要な時期、井筒は英語を用いて何冊もの著作をまとめていた。『井筒俊彦英文著作翻訳コレクション』が完結することによってようやく、現代の「東洋の哲人」たる井筒俊彦、その思想のもつ全体像が真に明らかとなる。地理的であるとともに精神的な東洋を探求する新時代の「東方」の哲学、「黎明」の哲学はここからはじまる。

文芸評論
多摩美術大学美術学部教授

老子道徳経

［底本］Lao-tzŭ: The Way and Its Virtue
古勝隆一（中国古典学）訳

272頁　本体価格3800円

テヘラン滞在中、中国古典『老子道徳経』に注釈を施し英訳した遺稿の邦訳。伝統的な解釈に向き合い原典に忠実に言葉を選びながら、井筒は語り手の老子を、永遠なる「道」と一体化した一個の人格「私」として捉え、そこに流れる一貫した強力な思想を読みとる。井筒独自の解釈をもとに、これまでにない『老子道徳経』を読むことができる一冊。老子論としても秀逸な序文つき。

クルアーンにおける神と人間
——クルアーンの世界観の意味論

［底本］God and Man in the Koran: Semantics of the Koranic Weltanschauung
鎌田　繁（イスラーム神秘思想・シーア派研究）監訳
仁子寿晴（イスラーム哲学・中国イスラーム思想）訳

400頁　本体価格5800円

「創造主たる神」と「被造物たる人間」の関係性を軸にクルアーンを意味論的に分析、その世界観を形づくる生き生きとした動的存在論を導き出す。井筒が愛した無道時代の数多の詩との比較により、イスラーム誕生前後の世界観がいかに変化したか概念的に描き出す。イスラーム文化やクルアーンを理解するための手引きとなる世界的名著。

井筒俊彦の生涯

1914年5月4日、東京市四谷区に生まれる。

慶應義塾大学で西脇順三郎に師事し、言語学者として出発。ギリシア神秘思想史、ロシア文学などを講義するかたわら、1941年『アラビア思想史』、49年『神秘哲学』、50年『アラビア語入門』、51年『露西亜文学』など初期代表著作を刊行。

1949年から開始された連続講義「言語学概論」をもとに56年 *Language and Magic*（『言語と呪術』）を発表。同書によりローマン・ヤコブソンの推薦を得てロックフェラー財団フェローとして59年から中近東・欧米での研究生活に入る。59年 *The Structure of the Ethical Terms in the Koran*（『意味の構造』として『井筒俊彦全集』第11巻に収録）を刊行。

1960年代からマギル大学やイラン王立哲学アカデミーを中心に研究や講演、執筆活動に従事、64年 *God and Man in the Koran*（『クルアーンにおける神と人間』）、65年 *The Concept of Belief in Islamic Theology*（『イスラーム神学における信の構造』）、66年－67年 *A Comparative Study of the Key Philosophical Concepts in Sufism and Taoism*（『スーフィズムと老荘思想』上下巻。83年に改訂版）、71年 *The Concept and Reality of Existence*（『存在の概念と実在性』）など英文著作を精力的に発表する。

1967年から82年までほぼ毎年エラノス会議で、老荘思想や禅、儒教など東洋哲学についての講演を行ない、計12回の講演は歿後 *The Structure of Oriental Philosophy: Collected Papers of the Eranos Conference*（『東洋哲学の構造——エラノス会議講演集』）としてまとめられた。

また、テヘランでは『老子道徳経』を中国語から英語に翻訳し刊行する予定だったが、1979年2月イラン革命激化のため日本に帰国。歿後 *Lao-tzŭ: The Way and Its Virtue* として刊行された。

帰国後は、長年の海外での研究成果による独自の哲学を日本語で著述することを決意、83年『意識と本質』、85年『意味の深みへ』、89年『コスモスとアンチコスモス』、91年『超越のことば』、93年絶筆となった『意識の形而上学』などの代表著作を発表した。

1982年日本学士院会員、毎日出版文化賞、83年朝日賞受賞。93年鎌倉の自宅で死去。

存在の概念と実在性

［底本］The Concept and Reality of Existence
鎌田　繁（イスラーム神秘思想・シーア派研究）監訳
仁子寿晴（イスラーム哲学・中国イスラーム思想）訳

272頁　本体価格3800円

一九七一年、マギル大学時代に発表したイスラーム哲学に関する講演論文集。イスラーム形而上学的思惟の構造、東西の実存主義、存在一性論、さらにイラン哲学最大の思想家サブザワーリーの思想構造を、文献学的精密さと比較哲学的な方法論によって明快に分析する名論文四本を収録。井筒イスラーム論の真骨頂とも称される一冊。

言語と呪術

［底本］Language and Magic: Studies in the Magical Function of Speech
安藤礼二（文芸評論）監訳
小野純一（イスラーム思想・哲学）訳

272頁　本体価格3200円

一九四九年から数年にわたり行われた伝説的な講義「言語学概論」をもとに井筒がはじめて英文で書き上げた幻の著作。言語が世界を秩序づける論理とそれを根底から覆す呪術の力をもつことを、考古学から人類学、言語学、宗教学、心理学、詩学の成果を大胆に応用して明らかにする〈言語学原論〉、待望の邦訳。

イスラーム神学における信の構造
——イーマーンとイスラームの意味論的分析

［底本］The Concept of Belief in Islamic Theology: A Semantic Analysis of *Imān* and *Islām*
鎌田　繁（イスラーム神秘思想・シーア派研究）監訳
仁子寿晴（イスラーム哲学・中国イスラーム思想）訳
橋爪　烈（カリフ制度史・イスラーム政治思想史）訳

440頁　本体価格5800円

イスラームという宗教にとって最重要の概念である「信仰」や「信じること」は、いかに〈理性〉のフィルターを通して精緻に概念化されていったのか。イスラームが誕生した七世紀から一八世紀の一〇〇〇年にわたり、ときに烈しい論争を巻き起こしながら、精緻な理論へと練り上げられていった、壮大な「イスラーム神学論争」の展開を追う。

井筒哲学の本格的研究の展開へ

澤井義次

このたび、『井筒俊彦全集』（全十二巻・別巻一）の刊行に引き続いて、『井筒俊彦英文著作翻訳コレクション』（全七巻・全八冊）の刊行が完結した。二十年にわたる海外での研究生活のあいだ、井筒俊彦が英語で出版した著作も含めて、井筒の哲学的思惟を日本語で読むことができることになった。

井筒はまず、クルアーンについての意味論的研究などによって、国の内外でイスラーム学者として知られるようになった。その後、イブン・アラビーなどのイスラーム神秘思想の研究に取り組み、さらにエラノス会議では、おもに東アジアの伝統的な思想について講演をおこなうなど、晩年にかけて「東洋哲学」という彼独自の哲学的思惟を次第に醸成していった。初期のクルアーン研究から晩年の「東洋哲学」研究に至るまで、井筒の意味論的パースペクティヴは全ての著作を貫いている。

井筒哲学は、これまで日本の多くの読者の心を惹きつけてきたが、近年では、広く海外の研究者からも注目を集めている。今回の『井筒俊彦全集』と『井筒俊彦英文著作翻訳コレクション』の刊行によって、井筒の没後、ようやく四半世紀が経った今日、井筒哲学の全貌が明らかになった。そのことは、わが国において、井筒哲学の本格的な研究が展開される時期がいよいよ到来したことを示していると言えるであろう。

宗教学
天理大学教授

東洋哲学の構造
——エラノス会議講演集

［底本］The Structure of Oriental Philosophy: Collected Papers of the Eranos Conference
澤井義次（宗教学・インド哲学）監訳
金子奈央（宗教学・東アジア仏教）訳
古勝隆一（中国古典学）訳
西村　玲（日本思想史・東アジア仏教思想）訳

552頁　本体価格6800円

一九六七年から八二年の間、井筒はスイス・アスコナで開催されたエラノス会議で、日本と中国を中心とする東アジアの思想をテーマに与えられ講演した。老荘思想、禅仏教、華厳、儒教といった思想にとどまらず、水墨画や俳句、シャマニズムまで、縦横無尽に「東洋」を語り、「意識と本質」へと連なる思索を深めていった。講演の語り口を再現した名訳で贈る全十二回の講演録。

スーフィズムと老荘思想（上・下）
——比較哲学試論

［底本］Sufism and Taoism: A Comparative Study of Key Philosophical Concepts
仁子寿晴（イスラーム哲学・中国イスラーム思想）訳

（上）416頁、（下）368頁　本体価格各5400円

東洋の二大叡智たる老荘とイブン・アラビーの存在論を比較し、そこに通底する基本構造を見出す壮大な試み。『老子道徳経』の英訳の成果やイスラーム研究で彫琢した意味論的方法論をさらに発展させて到達した、井筒哲学の堂々たる集大成。渾身の訳者解説がこの道程を明らかにする。

装丁：中垣信夫＋中垣 呉［中垣デザイン事務所］
仕様：A5判上製
頁数：272～552頁

▶「井筒俊彦英文著作翻訳コレクション」特設サイト
http://www.keio-up.co.jp/kup/izutsu-e/
▶「井筒俊彦全集」特設サイト
http://www.keio-up.co.jp/kup/izutsu/cw.html
▶井筒俊彦特設サイト
http://www.keio-up.co.jp/kup/izutsu/

◎お申込み方法

お申込み書にご記入の上、お近くの書店にお持ちください。
お近くに書店がない場合には、下記の弊社営業部に直接お申込みください。
また、弊社ホームページ上でもお申込みいただけます。　http://www.keio-up.co.jp/

お申込み書

書店名

［この欄は書店が使用します。］

発行：慶應義塾大学出版会　TEL：03-3451-3584　FAX：03-3451-3122

	タイトル	ISBN	本体価格	
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション	老子道徳経	978-4-7664-2415-7	3,800円	[　]冊
	クルアーンにおける神と人間	978-4-7664-2416-4	5,800円	[　]冊
	存在の概念と実在性	978-4-7664-2456-0	3,800円	[　]冊
	言語と呪術	978-4-7664-2457-7	3,200円	[　]冊
	イスラーム神学における信の構造	978-4-7664-2458-4	5,800円	[　]冊
	東洋哲学の構造	978-4-7664-2459-1	6,800円	[　]冊
	スーフィズムと老荘思想　上	978-4-7664-2460-7	5,400円	[　]冊
	スーフィズムと老荘思想　下	978-4-7664-2461-4	5,400円	[　]冊
	全7巻（全8冊）	本体価格合計 40,000円	[　]	セット
井筒俊彦全集	第１巻　アラビア哲学	978-4-7664-2071-5	6,000円	[　]冊
	第２巻　神秘哲学	978-4-7664-2072-2	6,800円	[　]冊
	第３巻　ロシア的人間	978-4-7664-2073-9	6,800円	[　]冊
	第４巻　イスラーム思想史	978-4-7664-2074-6	6,800円	[　]冊
	第５巻　存在顕現の形而上学	978-4-7664-2075-3	6,800円	[　]冊
	第６巻　意識と本質	978-4-7664-2076-0	6,000円	[　]冊
	第７巻　イスラーム文化	978-4-7664-2077-7	7,800円	[　]冊
	第８巻　意味の深みへ	978-4-7664-2078-4	6,000円	[　]冊
	第９巻　コスモスとアンチコスモス	978-4-7664-2079-1	7,000円	[　]冊
	第10巻　意識の形而上学	978-4-7664-2080-7	7,800円	[　]冊
	第11巻　意味の構造	978-4-7664-2081-4	5,800円	[　]冊
	第12巻　アラビア語入門	978-4-7664-2082-1	7,800円	[　]冊
	別　巻	978-4-7664-2083-8	7,200円	[　]冊
	全12巻・別巻（全13冊）	本体価格合計 88,600円	[　]	セット

お名前

ご住所

お電話

E-mailアドレス

お申込み書にご記入いただきました個人情報は、ご注文の書籍の発送およびご連絡のみに使用します。

◎お取り扱いは

慶應義塾大学出版会
〒108-8346 東京都港区三田2-19-30
TEL 03-3451-3584 /FAX 03-3451-3122
http://www.keio-up.co.jp/